

小牧市障害者団体連絡会（準備会）通信

No. 1

つながって → ひろげる

「障害者団体連絡会」設立に向けて、今年4月に準備会を立ち上げました。

これは、昨年度ここばかりこまきが主催した障害者団体交流会（参加団体 15 団体 41 名）で、障害のある人も、ない人も、誰にとっても暮らしやすい小牧市のまちづくりをすすめていくために、障害者団体が連携を深め、共通の課題などを共有することが大切であると共感し、連絡会をつくることに賛同を得たことによります。

準備会には「小牧市おもちゃ図書館きらら」「小牧市肢体不自由児者父母の会」「小牧市難聴・中途失聴者協会」「しきの会」「ここばかりこまき」の5団体が参加し、ここばかりこまきが事務局を担うことになりました。

6月には、平成30年度小牧市市民活動助成金【団体助成】はじめる部門で採択され、準備のための活動資金5万円をいただきました。①インターネットを活用し情報を共有し協働で発信する事業、②紙媒体を活用し情報を共有し協働で発信する事業、③協働による共通課題に取り組む事業、の3つの事業をすすめながら、連絡会の設立に向けて準備をしています。

ホームページを開設しました!

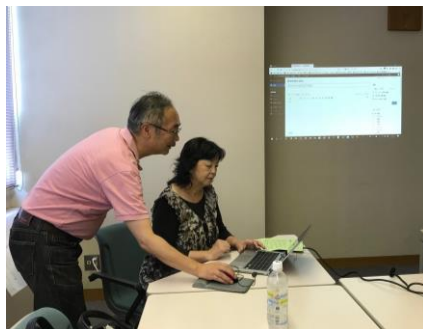


小牧市障害者団体連絡会（準備会）のホームページを開設しました。

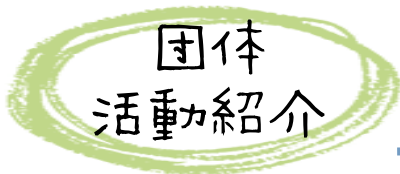
準備会の参加団体の紹介のほか、障害について知って欲しいことや、それぞれの団体が日ごこの活動を発信するブログもあります。今は、まだまだ情報が少ないですが、各団体の情報発信のツールとして、積極的に活用していきたいと考えています。

小牧市障害者団体連絡会（準備会）ホームページ

<http://komaki-sdr.sakura.ne.jp>



◀ ノートパソコンでホームページのブログへの投稿を体験する、おもちゃ図書館きららの船橋直美さん。この日は、あそびの企画“おもちゃであそぼう DAY”の告知をアップしました。



障害者団体連絡会の構成団体を紹介します。
今回は「しきの会」と「小牧市おもちゃ図書館きらら」です。

【しきの会】

文：しきの会

はじめまして。わたしたちは『しきの会』といいます。人工呼吸器を着けたわが子との生活を通し、障がい児・者が、この小牧市で他者(障がい者も健常者も)と関わり合う機会が乏しいと感じ、そして関わりに“いく”というのはとても勇気がいると、長いこと痛感してきました。

ならば作るう！どうせなら【楽しい】ことで。
大人もこどもも、そして健常者も障がい者もみんなで！！



この考えのもと集まった仲間たちとイロイロなイベントを開催しています。

♪音楽を奏でるメンバーと共に

バリアフリーコンサート♪

お祭りでにぎわう病院や、ふれあいセンター、公民館で。そこでは参加者も演奏者となり、おのおの手に持った楽器から自由に音を出して、音楽隊が引く楽しい音楽と一体となり会場を盛り上げます。



★こども料理教室★

フードコーディネータ、和食料理屋の大将、自家製パンを販売をするママさん。毎回「先生」になる方は考えぬいて、こどもたちが素材の感触や変化を楽しめるメニューを準備して、障がい児・健常児ごちゃまぜグループでおいしく作ります。

●体験型ワークショップ●

2020年パラリンピック種目のポッチャや車いすバスケットなど実際に体験してもらい、障がい者スポーツへの関心や理解を深めれる場を作ります。また病児・障がい児への遊び支援員による手づくり製作教室を開き、オリジナルの一品をつくります。

また2020年東京パラリンピックへのアート作品作りとして全国開催の参加者のハンドスタンプを集める企画も同時開催しました。

◆イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン参加◆

マックスバリュ小牧駅西店にて毎月11日に店内に設置される団体への応援ボックスに、その日のみ発行される黄色いレシートをお客様に入れてもらうことで、しきの会への活動応援をいただいております。(レシート合金額の1%にあたる品物がイオンより寄付されます。しきの会では各イベントに使用する物品にこの寄付分を充てさせていただきます。)

- 設立年 2016年
- 会員数 4名
- 会員構成 保護者、支援者・ボランティア
- 目的 障害のある人の支援および行政・市民等への働きかけ
- HP <http://shikino-kai.com/>

【小牧市おもちゃ図書館きらら】

文：小牧市おもちゃ図書館きらら

おもちゃ図書館は「障害のある子どもたちに、おもちゃのすばらしさと遊びの楽しさを」との願いから始まったボランティア活動です。

小牧市おもちゃ図書館きららでは、障害や発達に不安のある子どもたちとその兄弟姉妹におもちゃを貸し出したり、遊びの場の提供をしたりしています。気兼ねなく安心して遊べ、またお母さんたちにとって情報交換のできる場として、たくさんの方に利用してもらっています。

日常的には、障害者デイサービスひかり内のプレイルームで遊んだり、おもちゃを借りたいことができますが、これについてはデイサービスひかりの職員が対応しています。

ボランティアの主な活動は、おもちゃであそぼうDAYの開催（年4回）、きららニュースの発行（年4回）、ふれあいまつりや福祉展に参加（おもちゃづくり等）です。

★おもちゃであそぼうDAY

コンサート、人形劇、水遊び、お料理など、毎回趣向を変え、親子で楽しく参加してもらえる遊びの企画をしています。

★きららニュースの発行

あそぼうDAYの予告や報告のほか、新しく入ったおもちゃの遊び方や、おすすめの絵本などを紹介しています。また、あそぼうDAYに参加したり、おもちゃを借りて遊んだりした利用者の感想も紹介しています。

★ふれあいまつりや福祉展に参加

毎年、ふれあいまつりと福祉展に参加しています。福祉展では、身近な材料で作れる手作りおもちゃを考え、多くの子どもたちに作ってもらっています。



▲福祉展の手作りおもちゃのコーナーは今年も大盛況でした！

小牧市おもちゃ図書館の利用について

所在地 〒485-0832

小牧市応時三丁目230番地 小牧市ふれあいの家 障害者デイサービスひかり施設内

電話・FAX 0568-71-1003

利用時間 障害者デイサービスひかり開所日 9:00~17:00（土・日・祝日・年末年始休み）

利用方法 登録していただきます（無料）

利用できる方 小牧市在住で、障がいや発達に不安のあるお子さん（年齢制限はありません）

貸し出し期間 2週間（施設の場合は1ヶ月）

貸し出し点数 子ども1人2点

■設立年 1993年 ■会員数 7名 ■会員構成 保護者・支援者・ボランティア

■目的 発達に不安のあるお子さんとその家族におもちゃの貸し出しを行っている。会員同士の交流・情報交換・学習、障害のある人への支援



障害のことで知ってほしいこと

耳の不自由な人にであったら

話しかけるときに合図（手をあげるなど）をしてから

- 1、顔と顔を合わせてください。（口元がみえるようにマスクをとって）
- 2、ゆっくり はつきり 話してください。
- 3、大事な事は、復唱してください。
- 4、それでも伝わらないときは、筆談をしてください。
- 5、スマホなどメール画面を利用して打ちだしてください。
- 6、身振り手振りも交えるとよりわかりやすくなります。

（文：小牧市難聴・中途失聴者協会 古木）

活動
ほろこく

市民活動祭“ええがね！こまき”で活動をPRしました



9月8日、第5回こまき市民活動祭“ええがね！こまき”に、参加しました。

平成30年度小牧市市民活動助成金交付団体として、2階講堂入り口のフロアにパネル展示をしたほか、3階の学習室で、NPO法人尾張北部権利擁護支援センターと、ここばかりこまきの2つの団体との共同企画による映画上映会も行いました。

上映したのは、自閉症の青年を主人公にした映画「ぼくはうみがみたくなりました」。字幕付きですが、アイマスクをして、シーンボイスを聞きながら映画鑑賞する、というのも体験してもらいました。また、スマホで使えるユニバーサルアプリのUDトーク（耳のきこえにくい人のために、音声文字化）や、Uni-voice（目の見えにくい人のために、文字を音声化する）の紹介もしました。